

はじめに

(支援者のみなさまへ)

ひらがなを中心にした Vol.1 に続き、Vol.2 では、ひらがなを習得した子どもが取り組めるように、カタカナに特化した構成になっています。

カタカナは小学校一年生で習います。国語教育では、小学校一年生の段階でカタカナの読み書きができることが目標で、二年生になってカタカナで書く語がどのような種類の語であるかを知り、実際に文や文章の中でカタカナを使うことが求められます。

外国の人の名前や国の名前はカタカナで書くというルールを考えると、外国にルーツを持つ子どもは出身国や名前にカタカナが含まれていることが多く、カタカナに対して親しみを覚えるかもしれません。しかし、実際の発音とカタカナ表記の違いに戸惑う子どももいます。

また、特別支援教育の現場でも、カタカナは教材が多くないため指導に苦労しているということをお聞きしました。そこで、カタカナの書き方とルールが身につくような教材を作ろうと考えました。今回の教材化では、巻頭に日本語教育と特別支援教育の専門家による学習項目の解説と支援のヒントが述べられていますので、参考にしてください。

2021 年 12 月に本教材の前身である Vol.1 のほうの試作版を作り、全国 6 地域の日本語指導の現場で使っていただきました。試作版を各地域で使っていただいてわかったことがいくつかあります。それは、学用品の名称や身支度に関わる動詞をはじめ、学校にまつわることには地域性があるということです。支援者の方には、ぜひ地域性を大事にしていただけたいと思います。

また、下記のサポートサイトに「支援のヒント」がありますので、ご覧いただけたら幸いです。

「たんけんたいシリーズ」サポートサイト

<https://www.bonjinsha.com/wp/tankentai>



本教材をお使いいただく支援の場で、子どもたちが楽しい時間を過ごせることを願っています。また、ご意見やご感想などをお寄せいただけたらありがたく存じます。

本教材の学習項目の解説も書いてくださっている公認心理師の米田奈緒子先生には、カタカナの問題作成において特別支援教育の視点で多くのアドバイスをいただきました。そして、いつも適切なアドバイスをくださった凡人社編集部の渡辺唯広編集長と大橋由希さんに心から感謝いたします。

2024 年 5 月

川崎直子

本教材は、ユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。

On the basis of the policy of universal design (UD), easy to understand and easy to read character designs are used.



もくじ

はじめに（支援者のみなさまへ） i

『ことばたんけんたい vol.2』学習項目表（日本語教育と特別支援教育） iii

Part 1 カタカナ【基礎】

眼の運動	no.01～no.02	p. 1
カタカナの練習	no.03～no.12	p. 3
似ているカタカナに気をつけましょう	no.13～no.24	p. 12
同じ文字を見つけましょう	no.25～no.27	p. 24

Part 2 カタカナ【発展①】 特別な音を書きましょう

濁音と半濁音	no.28～no.30	p. 27
絵と言葉を結びましょう	no.31～no.33	p. 30
小さい「ヤ」「ユ」「ヨ」	no.34～no.37	p. 33
特別な音の読み方と書き方	no.38～no.43	p. 37

Part 3 カタカナ【発展②】 カタカナで言葉を書きましょう

聞いて、物の名前を書きましょう	no.44～no.50	p. 43
動物の鳴き声を書きましょう	no.51～no.52	p. 50
カタカナを縦書きで書きましょう	no.53～no.56	p. 51
言葉を見つけましょう	no.57～no.62	p. 55
カタカナで書く言葉	no.63～no.64	p. 61
身近な名前をカタカナで書きましょう	no.65	p. 63
身支度の言葉を書きましょう	no.66～no.67	p. 64

Part 4 カタカナ【発展③】 カタカナとひらがなを使いましょう

言葉を仲間に分けましょう	no.68～no.71	p. 66
スリーヒントクイズ	no.72～no.83	p. 70
文を読んで答えましょう	no.84～no.94	p. 81

Part 5 ソーシャルスキルトレーニング(SST)

こんなとき、どう言いますか	no.95～no.98	p. 92
---------------	-------------	-------

[著者プロフィール]

川崎 直子 (かわさき・なおこ)

愛知産業大学短期大学国際コミュニケーション学科 教授

一般社団法人かにえ子ども日本語の会 代表理事、一般社団法人ViVarsity 監事、支援教育専門士

カリフォルニア州立工科大学ポモナ校修了、南山大学大学院博士後期課程修了・博士(言語科学)

研究分野は第二言語習得、年少者日本語教育、地域日本語教育、特別支援教育

アメリカ留学中に、日本にルーツを持つ幼稚園児から高校生まで通う週末日本語学校で継承語日本語教育に出逢う。2004 年から愛知県西部地区の小中学校で外国にルーツを持つ子どもの日本語支援、保育所・幼稚園でのプレスクールを実施している。

2018 年度、2022 年度の科学研究費基盤研究 (C) の助成で、発達に困難を抱える外国にルーツを持つ子どものための特別支援教育の視点を持つ日本語支援教材開発や支援者間ネットワークの構築、アセスメント等を研究している。

[著書]

- 『日本語教育への道しるべ』(シリーズ監修/第1巻~第3巻共著) 凡人社, 2017 年
- 「外国につながる『困り感』のある子どもの指導に関して」『ことばと文字』くろしお出版, 2017 年
- プレスクール教材『ひらがなたんけんたい』『くらふとたんけんたい』『かいものたんけんたい』『がっこうたんけんたい』(教育 GP 助成), 『オリジナル版 ことばたんけんたい』(科研費助成)

協力 松本 恭子 (元 愛知産業大学短期大学 非常勤講師)

米田奈緒子 (一般社団法人家庭教育研究センター FACE 代表理事)

イラスト 杉浦 恵子

表紙デザイン 山田明日香 (コミュニケーションアーツ株式会社)

本教材は、令和4年度科学研究費基盤研究(C)(研究代表川崎直子)の助成を受けています。

たんけんたいシリーズ②

ことばたんけんたい vol.2

ことばをみつけましょう [文字とことば:カタカナ編]

2024 年 5 月 20 日 初版第 1 刷発行

著 者 川崎直子

発 行 株式会社 凡人社

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-3-13

電話 03-3263-3959

印刷・製本 倉敷印刷株式会社

定価はカバーに表示してあります。乱丁本・落丁本はお取り換えいたします。

*本書の一部あるいは全部について、著作者から文書による承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で、転載・複写・複製することは法律で固く禁じられています。

ISBN 978-4-86746-026-9

©KAWASAKI Naoko 2024 Printed in Japan